

2012年度「専門特殊研究」研究会一覧

2012年 9月 26日
文学学術院

2012年度実施の専門特殊研究会は以下のとおりです。
「科目登録の手引き」も確認してください。
なお、本内容は講義要項には掲載されていませんので、ご了承ください。

【専門特殊研究について】

高度な原典購読や資料解読、数理系の問題演習など、少人数による上級者向けの研究会での成果を、学部での履修単位として認定するための科目です。

<履修について>

- 1科目2単位とし、合計8単位を上限に卒業必要単位に算入されます。
- 年間における登録制限単位数、科目数には算入しません。
- 同一の学期に2研究会（4単位）までの単位認定が可能です。
- 1年次の秋期・後期から、4年次の春期・前期まで履修することができます。
※未進級者は1年次の扱いになります。また、延長生は履修することはできません。
- 本研究会は科目登録の結果通知には反映されません。

<成績について>

- 学期終了後、一定の条件を満たした研究会において、十分な成果を収めた学生についてのみ、単位の認定を行います。
- 評価は次学期の初めに行われ、実際に参加した次の学期の単位となります。
- 合格の場合、成績証明書には、「専門特殊研究（副題）（担当教員名）（配当年度・配当学期）」と記載します。

★各研究会の内容に関するお問い合わせは、以下の担当教員まで直接お問い合わせください。

（以下、学期・曜日・時限・主題名五十音順）

学期	曜日	時限	実施曜日・時限の特記事項	担当教員
参加可能年次	主題			
研究概要				
使用文献			活動記録の内容、提出方法	
受講者選考方法			備考	

秋学期

火 6時限

1年以上 ヒエログリフ資料講読

近藤 二郎

古代エジプトで考案され使用されたヒエログリフ(エジプト聖刻文字)による資料の講読をおこなう。本授業では主として、中王国時代から新王国時代に使用された中エジプト語資料を使って講読を実施していく。ヒエログリフと言っても外国語学習と変わらないので、毎回の予習・復習をしっかりとすることが求められる。講読する資料としては、ヘテプ・ディ・ネスウトと呼ばれる定型の供養文をはじめ、中王国時代や新王国時代に繰り返し使われる文例を使用していく。供養碑文、墓内碑文、そして木棺や彫像、シャブティ像などに刻された碑文を中心として扱っていく。また、ヒエログリフの碑文中に頻出する神名、神名の修辭、地名(外国も含む)、称号など繰り返し学習していく。ヒエログリフを読解し、読んで書けることを目指してもらいたい。古代の文字資料を使用するためには、翻訳ではなく1次資料を取り扱うことが必須である。文字に慣れるとともに積極的に文字を使える姿勢を養うことを目標とする。また受講生には中エジプト語のワードプロセッサの使い方も学習する。

基本的には、独自のテキストを受講生に配布して使用する。参考文献は適宜紹介していく。

各自に当てながら、輪読形式で行う。各回の授業内容に関して、活動記録として200字程度にまとめ、次回の授業までに提出すること。この活動記録が授業総回数の2/3以上提出されていることが単位修得の条件となる。

学期

曜日 時限

実施曜日・時限の特記事項

参加可能年次

主題

担当教員

研究概要

使用文献

活動記録の内容、提出方法

受講者選考方法

備考

受講希望者は、事前に受講希望理由書を800字程度で作成し、ikondo@waseda.jp宛てに9月30日までに送信すること。受講生は5名程度を想定している。受講生には追って通知する。

以 上